

## 【地元をはなれたリーダーへ】

会議の内容や議題を前もって連絡する。

- ・ 送るだけでなく返信をもらい、意見交換する。
- ・ 大会が終わってからも事業レポートとして報告。

地元を離れていても参加しやすい環境づくり。

- ・ 魅力ある活動を目指す。

《 、 の他に、どうしても参加できない人、物足りない人》

「地元以外の県でスポ少の活動・リーダー活動に参加する」

- ・ 各県での受け入れの体制を整える。
- ・ 各県でリーダーの名簿を管理し、他県と連絡を取る。

### [問題]

- ・ 都会などに集中して、元の県のリーダーの人数不足になるので地元の活動を中心の方がいいのではないか？
- ・ 他県に行っても、自分の県の特徴や言葉づかいなどで他県の特徴・特色を壊す恐れがあり、意見が言えないのでは、楽しくないのではないか？又、実力をはっきできない。

### [解決策]

他県での交流会などの活動において、自分の県に他県の良さを伝えるとともに、互いの情報交換などをして、自分の県に持ち帰り、他県での活動を自分の県で生かす！

### [まとめ]

夏休み、冬休みでの大会が多いためか、大会日程だけは地元に戻ってきやすくなっていると思われる。地元を離れたリーダーを支えるには、しっかりした事前連絡、事後報告をし、意見し合う事が大事だと思う。また、地元を離れているリーダーを気軽に参加できるような雰囲気づくり、環境づくりも必要なことであると思う。そして、それでもできない人は、他県での活動で自分の県に情報を持ち帰って活動することにより、地元を離れても、活動ができるのではないか。